

○4番 瀬戸椰月君

行橋小学校6年、瀬戸椰月です。私は、行橋市の防災について質問します。
最近、災害が相次いで起こっています。私のクラスの中でも話に出ますし、テレビでも南海トラフ地震のことが取り上げられていることがあります。行橋市は、南海トラフ地震の防災対策推進地域に含まれていると知りました。行橋市のホームページも見たことがあります。もっと防災の情報を載せたほうが良いと思います。
行橋市は幸いにも災害が少ない地域だと思いますが、災害に対してどのような取り組みをしているのか教えてください。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

瀬戸議員のご質問にお答えしたいと思います。まず率直に、ご指摘いただきましたホームページの内容の充実、ここは努めてまいりたいと思います。

そもそも行橋市のホームページですが、災害が起こった場合、あるいはその危険が迫ってきた場合には、いま現在、トップページが災害対応用に切り替わることになっております。そして平時の場合には、ホームページ内に防災ポータルサイトを設けております。そういったところで備品のことや防災情報を掲載していますけれども、引き続きこの充実にも努めてまいりたいと思います。また、お子様向け、ゆくはしキッズサイトというのもございますので、こちらのほうの充実にも努めてまいりたいと思います。

それから、行橋市の取り組みは本当に様々ございます。例えば、防災行政無線も老朽化していきますので、当然のことながら更新をしております。またLINEでも情報発信をしております。また、これもですね、ことしの6月ですけれども、防災についての記事を何ページにもわたって掲載をさせていただきました。こういった啓発活動もさせていただいております。

その他にも、今年度から防災井戸と言いまして、上水道が使えなくなった時のために、井戸水も活用しようということで、市内にまず2箇所の防災井戸も設置させていただいております。またペット用の避難所、コスメイト行橋を使って、いざという時にはペットが避難できる、そういった環境も整えました。さらには避難所運営訓練というの、まずは今元校区でさせていただきまして、ことしは11月にも実施をさせていただく予定でございます。

その他にも全国各地の自治体と協力して、防災ネットワークといったものも結んでおります。さらに日頃の備蓄品ですね、例えばアレルギー対応の食品もそうですが、そういった備蓄品、あるいは臨時のトイレだったりといった備蓄品の強化にも努めている次第

でございます。以上です。

○前半議長 渕上愛衣君

瀬戸議員。

○4番 瀬戸椰月君

御答弁、ありがとうございました。

次に、避難所についてですが、今は公民館や学校が主な避難所になっていると思います。避難するのは、赤ちゃんや様々な方がいますので、避難所の環境を整えたり工夫することも大事だと考えますが、どのようにされていますか。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。いま御質問がございましたが、例えば高齢者・障がい者の方、妊婦さん、また乳幼児、小さなお子さんですね、こういった方々、避難所生活において特別な配慮が必要といった方々向けには、福祉避難所といったものを用意しておりまして、市内に5箇所用意をさせていただいております。

また、先ほどもアレルギー対応の食品のことについても触れましたけれども、その他にも乳幼児や高齢の方向けのオムツや生理用品といったものの準備にも努めているところでございます。

また、プライベートな空間の確保、これは、日本は諸外国と比べて比較的遅れているという意見もあるわけですが、プライベート空間の確保ということで、各避難所にテントを設置できるように、本年度購入する予定でございます。

それから、先ほども申し上げましたけれどもペット避難所といったものも準備をさせていただきました。また2次避難所といったものを4箇所増設しまして、市民の皆様方の避難に備えさせていただきたいと思っております。以上でございます。

○前半議長 渕上愛衣君

瀬戸議員。

○4番 瀬戸椰月君

御答弁、ありがとうございました。

次に、福岡市には市民防災センターがあり、地震や強風の体験をしたり、たくさんの資料から防災についての学びを深めることができます。このような身近に防災を意識できるような施設や、万が一災害が起きたときに使用できる設備を備えた防災公園があるとよいと思います。ご検討をお願いします。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。いろいろと防災に関しましては取り組み方があると思いますが、何か新しく建てたり、あるいは車両を購入するというふうになると、コストも掛かることなので、これはかなりいろいろと考えないといけないと思いますけれども、一方で、我々としましては、地域に女性学級というのがあるのですが、そういったところに出向いて行ったり、様々なかたちで防災講話をさせていただくことで啓発活動をしております。

それから、防災公園のお話がありましたけれども、これは実際に公園づくりのワークショップを市民の皆様に参加していただいてワークショップを開催したのですが、やはりこうした中でも、かまどが付いているベンチや防災公園があったらいいんじゃないかという御意見もいただきました。

いま現在そういったものをつくっていく計画そのものはないのですが、私もかなりこの辺につきましては前向きに考えている次第です。議員の御意見も参考にさせていただきたいと思っています。以上です。

○前半議長 渕上愛衣君

瀬戸議員。

○4番 瀬戸椰月君

それでは、次の質問に移りたいと思います。

次に、行橋市の地球温暖化対策について質問します。最近では、ニュースなどでも、地球温暖化が進んでいますが、行橋市も例外ではありません。市のホームページを見ましたが、行橋市においては地球温暖化対策について、どのような取り組みをしているのかお尋ねします。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えさせていただきます。昨年3月27日にゼロカーボンシティ行橋を宣言させていただきました。いま現在としまして、とにかく2050年までに温室効果ガスの排出ゼロを目指すということでございます。現在、行橋市としましては、電気自動車を購入する場合に補助金を出したり、ゴミの分別といったものの推進をさせていただいております。以上でございます。

○前半議長 渕上愛衣君

瀬戸議員。

○4番 瀬戸椰月君

ありがとうございます。

これから地球温暖化対策のために自分たちにできることはありますか。お尋ねします。

○前半議長 渕上愛衣君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えさせていただきます。まず、とにかくごみを出さないということだと思います。食べ物を残さないというのもそうですが、食べ物だけではなくて衣類もそうですし、例えば玩具、おもちゃもそうですが、本当に必要なものかどうか、そういったものを真剣に考えていく必要があるのかなと思います。

ものが運ばれてくる、例えば買うときに、インターネットでショッピングしたものが運ばれてくるときにもCO₂は排出されますし、それから例えばごみを燃やすにもCO₂が排出されたりするわけですので、本当に必要なものかどうかというのを考えていただくということ、そしてごみの分別といったものを徹底していただければと思います。

以上です。

○前半議長 渕上愛衣君

瀬戸議員。

○4番 瀬戸椰月君

ご答弁、ありがとうございます。これからは、エアコンの設定温度を高くしたり、なるべくゴミを出さないようにしたりと、いろいろ工夫しようと思います。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございます。